

開設する講座

講座名	曜日	定員	材料費 実費
料理講座	月曜日	25人	月額3,000円
社交ダンス講座	月曜日	30人	月額1,000円
生花講座(小原流)	火曜日	20人	月額3,500円
ジャズダンス講座(初級)	火曜日	25人	月額2,500円
ジャズダンス講座(上級)	火曜日	25人	月額2,500円
茶道講座(表千家)	水曜日	15人	月額2,000円
生花講座(龍生派)	木曜日	20人	月額3,500円
書道講座	木曜日	20人	月額1,500円
茶道講座(表千家)	金曜日	15人	月額2,000円
エアロビクス講座(A組)	金曜日	25人	月額2,500円
エアロビクス講座(B組)	金曜日	25人	月額2,500円

※各講座は6か月コースですが、社交ダンス講座は10月から12月までの3か月コースです。
※開講時間は、いずれも午後7時から9時までです。

いまが受講のチャンス!

青少年ホームで後期教養講座受講生を募集



火曜日に行われるジャズダンス

勤労青少年ホームでは、昭和六十二年後期教養講座の受講生を募集しています。開設する講座は、上の表のとおりで、期間は、十月から来年の三月までの六か月間です。受講できる人は、市内在住または勤務する十五歳以上の勤労青少年ですが、一部の講座では、一般の人を受け付けます。受講を希望される人は、

第八回文化講演会 講師は――

和泉雅子さん

九月三十日までに勤労青少年ホーム(〒241-5320)へお早めにお申し込みください。なお、ジャズダンス講座、エアロビクス講座は、女性に限りませんが、その他の講座は、男女を問いません。特に男性の受講を歓迎します。

第八回文化講演会
講師は――
和泉雅子さん

第八回「文化講演会」が開かれます。今回は、県と自治体総合センターの協力によって、講師に女優の和泉雅子さんをお迎えすることになりました。□とき：十月四日(日)の午後二時から
□ところ：市民会館大ホール
□演題：「私だけの北極点」――限界へのチャレンジ――
※講師の和泉雅子さんは、十歳のときに児童劇団に入団し、現在も女優として活躍中です。また、昭和六十年には、北極点到達をめざし出発しましたが、途中で断念。しかし、一年後の六十一年には、女性としては世界初の氷上踏破で北極点に到達されました。

なお、この講演会は、宝くじ売上金の一部の助成を受けています。



和泉 雅子さん

お買物、ご用命は市内で

リオネット補聴器 相談コーナー!

毎週火曜日午前11時から正午まで
リネン(株)より専門係員が来店します。

メガネの **野本**

新津市本町3丁目(時計店となり) ☎22-2556(代)

生徒募集中

料理の基本、コツを学べば、毎日の料理作りに違いがでます。料理作りが楽しくなります。

新津料理学校 (週1回、月2回クラス有り)
昼・夜クラス有り
5人以上のグループ講習有り

滝谷町5の2 ☎(22)5000 駐車場有り



八月は地域の「あいさつ運動強調月間」なので、前回の湯田さんに続いて挨拶の話を取り上げてみた。

挨拶とは、人に会ったときに交わす社交的な言葉や動作である。こんな簡単なことがと思うが、なかなかできるものではない。笑顔で挨拶されると、気持ちりが和む。

夏休み毎日、元気よくラジオ体操に行く子どもたちに、突然大きな声で「おはようございます」と挨拶されると、爽快な気分になる。返事や受け答えがきち

挨拶は真心で

寛路津

野口 登

った。ちょうど昼どきで、行き交う人もなく、ちよつと残念だったが、この地帯は、また小鳥たちの楽園とのこと。きつと、朝もやの漂うころ、小鳥の美しい音色に誘われ散策する人々が、笑顔で挨拶しあうのではないだろうか。想像するの心温まる思いで、「何

んどできないと、挨拶もろくにできないと言われるが、挨拶ひとつでその人の人間性、銀がわかるのではないだろうか。

先日、軽井沢の別荘地を車で通つたとき、濃緑な樹木を縫うように「あいさつ通り」と書かれた道路がある。

て幸せ多き道なのか」と思ひながら通つてきた。そのことを帰って話すと、市内の金津地区にも「あいさつ道路」があり、多くの人に親しまれているとのこと。認識不足を恥じるばかり。

また挨拶は、いろいろな幅が広く、身近なところで冠婚葬祭、集会などでの重要な役割を占め、慣れないと非常に苦痛すら感じる。

近くに住むK氏は、さる五月、長男の結婚式があった。当日、彼は、両家を代表して挨拶しなければと思うと、気が重くなるばかり。人にも頼めないし、困り果てたが、こは一番奮起

して、昨年の十月ごろから挨拶の準備を始め、テープに吹き込み、日夜練習を重ねたとくそに聞かされた。その努力に驚くとともに、深く感動した。当日の挨拶は、ただの決まり文句ではなく、「ありがとございます」という心からの気持ち

が、会場の隅々まで行き届き、挨拶が終わると、割れるような拍手。これが本当の努力の結晶だと、挨拶下手な私に、大きな感動と勇気を与えてくれた。

挨拶は、形式ではなく、真心である。「あいさつ運動」は、まず家庭から始め、そして、大きな輪に広がっていききたい。

このパトンを寛路津の稲垣田鶴子さんにリレーします。